令和８年度　「総合的な探究の時間」指導計画書

学校番号	52	学校名	岡谷南	高等学校	名称	「こまくさ探究TIME」
		課程	全日	制		（課題研究　　単位の内　　単位）

学年	3	学　科	普通	科	生徒数	191	人	時間数	23	時間
		コース		コース						

目　　標 （育成する資質・能力）	(1)生徒が自己理解を深め、社会や職業について探究し、自らの進路選択を主体的に行えるようにする。 (2)将来的なキャリアデザインを意識しながら進路選択について考えることで、より具体的で、より意欲的に社会に貢献できる自己の在り方を見いだす。
内　　容 （探究する課題について明確にすること）	１・２年次に自己の進路実現に向けて学校内外における課題探究に主体的・共働的に取り組む活動をし、社会に貢献していく自らの生き方について理解を深めてきた生徒が、さらなる自己分析と情報の収集・分析を重ねることを通じて、それをより具体的に、自己の卒業後の進路について探究する。探究結果は「未来への志願理由書」という形にまとめ内外に発表する。

学期	時間	月	日	曜日	時　限 時間帯	内　　容 単元	内　　容 各回の学習内容	指導方法	備　考 （教材、場所等）
前	1	4	21	火	６時限	課題発見	社会情勢と自身の繋がりを探究しよう　イントロダクション	講義、担任	HR教室
	2	4	28	火	６時限	課題発見	社会情勢と自身の繋がりを探究しよう　個人テーマを決めよう	個人探究、ペアワーク	HR教室
	3	5	8	金	６時限	課題探究	社会情勢と自身の繋がりを探究しよう　調査活動	個人探究	HR教室
	4	5	25	月	６時限	課題探究	社会情勢と自身の繋がりを探究しよう　調査活動	個人探究	HR教室
	5	6	2	火	６時限	課題探究	社会情勢と自身の繋がりを探究しよう　調査活動	個人探究	HR教室
	6	6	9	火	６時限	課題探究	社会情勢と自身の繋がりを探究しよう　調査活動	個人探究	HR教室
	7	6	16	火	６時限	課題探究	社会情勢と自身の繋がりを探究しよう　他者に伝わるようにまとめよう	個人探究	HR教室
	8	6	23	火	６時限	課題探究	社会情勢と自身の繋がりを探究しよう　他者に伝わるようにまとめよう	個人探究	HR教室
	9	6	30	火	６時限	課題探究	社会情勢と自身の繋がりを探究しよう　中間発表会	ポスター発表	HR教室
	10	7	14	火	６時限	課題探究	社会情勢と自身の繋がりを探究しよう　中間発表会	ポスター発表	HR教室
	11	8	28	金	６時限	課題探究	社会情勢と自身の繋がりを探究しよう　ピアフィードバックをもらおう	ペアワーク	HR教室
	12	9	1	火	６時限	課題探究	社会情勢と自身の繋がりを探究しよう　フィードバックを踏まえてさらに調査を進めよう	個人探究	HR教室
	13	9	8	火	６時限	課題探究	社会情勢と自身の繋がりを探究しよう　フィードバックを踏まえてさらに調査を進めよう	個人探究	HR教室
後	14	10	2	金	６時限	課題探究	社会情勢と自身の繋がりを探究しよう　フィードバックを踏まえてさらに調査を進めよう	個人探究	HR教室
	15	10	6	火	６時限	課題探究	社会情勢と自身の繋がりを探究しよう　レポートにまとめよう	個人探究	HR教室
	16	10	13	火	６時限	課題探究	社会情勢と自身の繋がりを探究しよう　レポートにまとめよう	個人探究	HR教室
	17	10	19	月	６時限	課題探究	社会情勢と自身の繋がりを探究しよう　グループ発表会	グループワーク	HR教室
	18	10	27	火	６時限	課題探究	社会情勢と自身の繋がりを探究しよう　グループ発表会	グループワーク	HR教室
	19	11	2	火	６時限	課題探究	社会情勢と自身の繋がりを探究しよう　グループ発表会	グループワーク	HR教室
	20	11	17	火	６時限	課題研究	社会の中での自己の役割について考えよう	個人探究	HR教室
	21	12	1	火	６時限	課題研究	社会の中での自己の役割について考えよう	個人探究	HR教室
	22	12	8	火	６時限	課題研究	社会の中での自己の役割について考えよう	個人探究	HR教室
	23	12	15	火	６時限	課題研究	社会の中での自己の役割について考えよう	個人探究	HR教室

評価の観点・方法	〈評価の観点〉 ・学習対象について教科・科目横断的・総合的見方・考え方が出来ているか ・探究する課題について、自己との関わりにおいて適切な問いを立てているか ・課題に対する、情報の収集や分析を、主体的かつ協働的に行っているか ・探究の成果物を、わかりやすく的確にまとめ、発表できているか 〈評価の方法〉 ・プレゼンテーションやポスター発表などによる評価 ・報告書、レポートなどの製作物とそれらを集積したファイル、ポートフォリオ等による評価 ・評価カードや学習記録などによる生徒の自己評価や相互評価